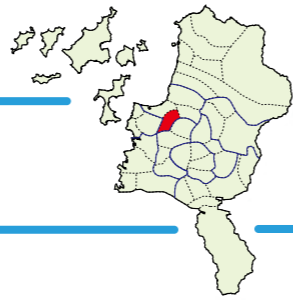


# 久枝地区

人口: 19,861人(高齢化率26.0%)  
世帯数: 9,378世帯

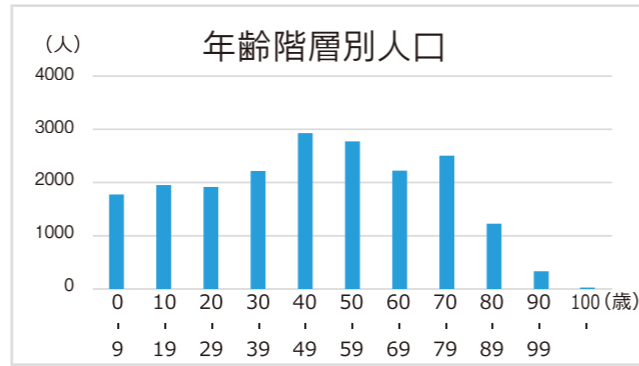


## 【地区の特色】

久枝地区は、松山城の北西の方向にあり東西約2km、南北約4kmの長方形のような形をしている。かつてはのどかな田園地帯であったが、市街化区域に指定されてからは南は住宅地域、北は農業地域、中央付近には工場が建ち並ぶように変貌してきた。バイパスや県道が縦横に走り、多くの企業をはじめ、学校・病院・マンションや住宅等が建ち並ぶ町となった。近年、人口が増え、交通の便も良くなってきたこともあって、居を求めてくる人々が多くなる傾向が見られる。



眼下の中央卸売市場



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の登下校の見守りを地域の人が行っている</li> <li>・地区の行事が多い</li> <li>・医療、教育、買い物、金融機関等生活環境が整っている</li> <li>・良い人が多い ・子どもがよく挨拶してくれる</li> <li>・チョイソコ事業があり高齢者には交通の便が良い</li> <li>・川狩り等の伝統文化を大切にしている ・久万川周辺地以外の災害は少ない</li> <li>・久万川の改修により渡り鳥が来ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい住民が地域の行事になかなか参加してくれない</li> <li>・久枝公民館は建屋、駐車場が狭く、地区集会場でも駐車場が少ない</li> <li>・公共の交通機関がバスしかなく、さらに本数が減少</li> <li>・基幹道路の交通量が多い</li> <li>・改修が進んではいるが久万川の水害が心配</li> <li>・空き家、休耕地や耕作放棄地が多い</li> <li>・町内会の申請で増えてはいるが防犯灯、街灯が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民の人間関係が希薄になり、世代間の交流も少ない</li> <li>・町内会に入る世帯が減っている</li> <li>・子どもの減少・老々介護の増加</li> <li>・町内の担い手(町内の役員や民生委員)が育たない</li> <li>・県道の交通量が多く危険 ・ため池があり事故及び災害等の安全面で不安</li> <li>・空き家が増加している</li> <li>・災害時の避難ルートが分かりにくい ・災害無線が聞こえにくい</li> <li>・イヌネコの糞害 ・ゴミ置き場のカラス被害</li> </ul>

## 久枝地区社会福祉協議会

人いきいき 誰もが住みたい 久枝に

構成団体	地区民協・公民館・町内会連合会・まちづくり協議会・支所
主な取り組み	活動内容
各種講座の開催と通知	脳トレや体操、福祉講座を実施、年に2回発行の福祉だよりにて福祉情報の周知・啓発に努めています。
昔遊び集会 名人さんに学ぼう	地域住民が昔の遊びや名人芸などを伝え、小学生との交流の機会を図っています。また、児童館行事にも積極的に関わっています。
独居高齢者訪問事業	地域内の一人暮らし高齢者を対象に日常生活の慰労を目的として地区民協と連携し、自宅を訪ねる活動を続けています。

### 夏まつり

「老いも若きも誰もが気軽に集い会える久枝でありたい」との思いを重ねた夏祭りが、およそ100名の来場者を迎え盛況のうちに開催されました。幼な児の愛らしい浴衣姿に癒され、お兄ちゃんに教えてもらいながらの輪投げも一投毎に歓声が挙がり、世代を超えた夏祭りとなりました。継続した活動になればと願っております。



### <地区社協が目指すもの>

《城の西北 緑の丘に 名も久枝…》と小学校の校歌にも歌われてきた久枝地区です。都市化が進み、当時の田園風景を残しながらも住宅地区が増え、中央卸売市場を代表とする商業施設があり、小学校・中学校・高校・盲学校・児童館など教育施設も充実している街と自負しています。

そうした中、『人いきいき誰もが住みたい久枝に』を基本理念とし、何時でも気軽にお互いに声を掛け合い、おしゃべりをしたり助け合ったり、子ども達の成長を見守り、高齢者や弱者を気遣う、そのような久枝地区でありたいと願っています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	28名 2名	■町内会・自治会・区長会等	14団体
	■まち協の設立	平成29年度	■高齢クラブ	2クラブ
		■子ども会	3団体	
		■自主防災組織	15組織	

バイパスなど交通環境に恵まれており、様々な企業や商業施設がみられ、医療機関や教育機関などの暮らしに必要な社会資源も充実した地区となっています。高齢者を対象とした各種講座が開催されるほか独居高齢者訪問事業など、高齢者を支える取り組みが多くみられるだけでなく、高齢者の持つ知恵や技術を交流も兼ねて次世代へつなげる昔遊び集会をみてもわかるように、高齢者が支援者ともなっています。新しく転入してきた住民も地域の行事や支え合いの輪に入り、地区社協の目標にもなっている住民が互いに助け合い、子どもの成長を見守り、互いに気遣い合える環境整備の実現のモデルとなることが期待されます。

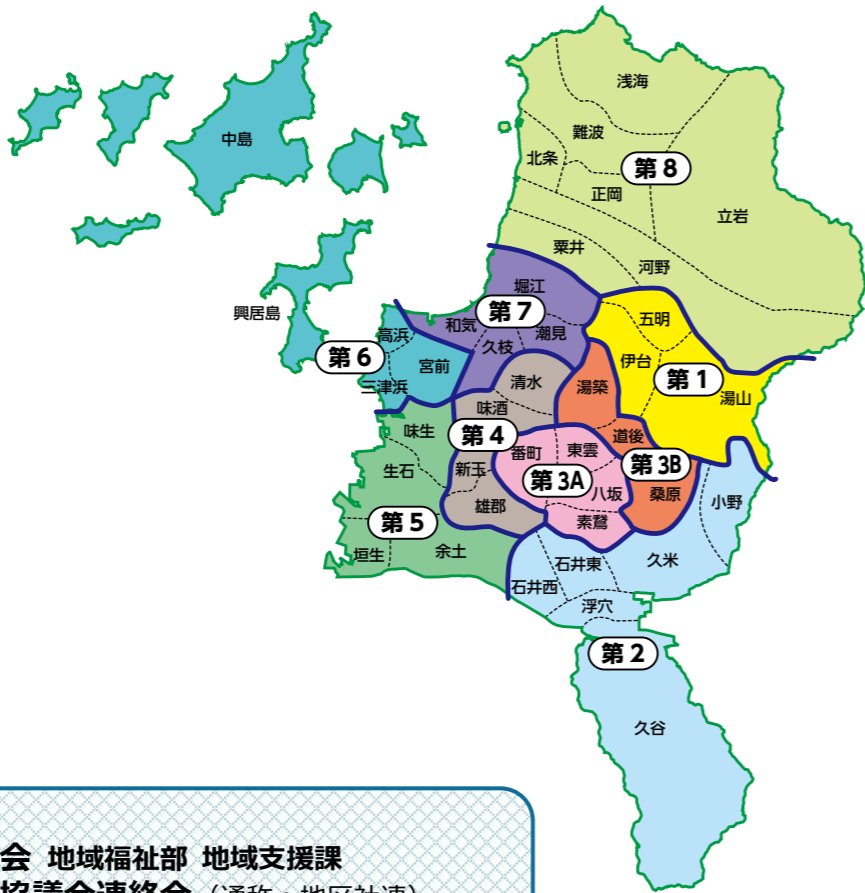


# 地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

## 『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	興居島地区	正岡地区	
	浮穴地区		中島地区	北条地区	
	小野地区		潮見地区	河野地区	
	石井東地区		久枝地区	粟井地区	
	石井西地区		和気地区		
久谷地区	堀江地区				
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区		
	八坂地区		新玉地区		
	東雲地区		清水地区		
素鷲地区	味酒地区				
第3 B	道後地区	第5	余土地地区		
	湯築地区		垣生地区		
	桑原地区		生石地区		
			味生地区		



**発行日** 令和6年4月  
**発行** 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）  
 〒790-0808 松山市若草町8番地2  
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408  
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>  
**作成** 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

## <『地域カルテ』の見方>

- ①地区の概要**
  - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
  - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
  - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
  - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）
- ⑤地域福祉推進のポイント**
  - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
  - 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏